

試験①

- (1) 動画を再生します。メモをとりながら動画を見て構いません。動画の最後に出題内容を発表します。
- (2) 出題に対するあなたのアイデアを表現してもらいます。表現の仕方はiPadを用いたり、紙に書いたり、模型を作成したりなど、どのような表現方法でも構いません。アイデアがまとまったら採点者にアイデアを表現したもの(A)を提出し、アドバイスをもらってください。
- (3) 採点者のアドバイスをもとにアイデアを改善してください。
- (4) 最終提出の時間になったら、アイデアを表現したもの(A)を回収します。別紙にアイデアを文章(B)で説明しても構いません。説明文はアイデアを表現したもの(A)に書いても構いません。

☆諸注意☆

- ・不明点や、道具の不足、不備がある場合、質問は【補助】の先生にしてください。【採点者】は質問などには答えません。
- ・道具やiPadなどを用意しています。自分が最も良いと思う方法で表現してください。
- ・インターネットを利用し、情報や画像の検索などはできます。ただし、LINE、SNS、メールなどを使って外部と連絡することは禁止します。

試験②

- (1) 試験①で考えたアイデアをもとに、グループで話し合い、グループとして最善のアイデアを出して下さい。
- (2) グループの中の誰かのアイデアを活用しても、新しいアイデアを出しても、どちらでも構いません。
- (3) 最終発表の時間になったら、最も良いと考えられるアイデアをグループでプレゼンテーションしてもらいます。

【試験①後に提出するもの】

A アイデアを表現したもの

(iPadで加工した画像、用紙に書いたイラスト、模型など)

B Aを文章で説明したもの

(Aの中に説明があれば提出はしなくてよい)

(例)

Aのみの場合：アイデアを書いたイラストと説明が書いてある用紙(A)

AとBの場合：アイデアを形した模型(A)と説明が書いてある用紙(B)

試験①	
	動画の再生
	創作開始
	一次提出（25分後より）
	再考
	最終提出

試験②	
	自己紹介
	グループワーク開始
	最終発表
	最終記述

受験番号：

氏名：

問題文

本日の入学試験では「12つくる責任つかう責任」を例に出題していきます。

この目標は、

私たちが大量にモノを作り、大量に使い、その中で大量の資源がゴミとなって捨てられていくことで、地球にとっても大きな負担をかけている状態をやめるために設定されています。

今回は特に、

「ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。」
という課題に着目します。

このような取り組みの中に「アップサイクル」という考え方があります。これは、本来であればゴミとして捨てられるはずのものにアイデアを加えたり、デザインし直すことで、別の新しい製品として生まれ変わらせることです。

例えばアサヒグループは、パンの耳を使って地ビールを作ったりするといった取り組みをしています。

他にも首都高速道路で利用されていた横断幕が必要なくなった後、トートバックに生まれ変わらせるという取り組みもあります。



**12 つくる責任
つかう責任**

アップサイクル

本来であればごみとして捨てられるはずのものに、デザインやアイデアを加えることで、別の新しい製品として生まれ変わらせること

パンの耳を使って地ビールを醸造
首都高速道路の横断幕をトートバックに

出題

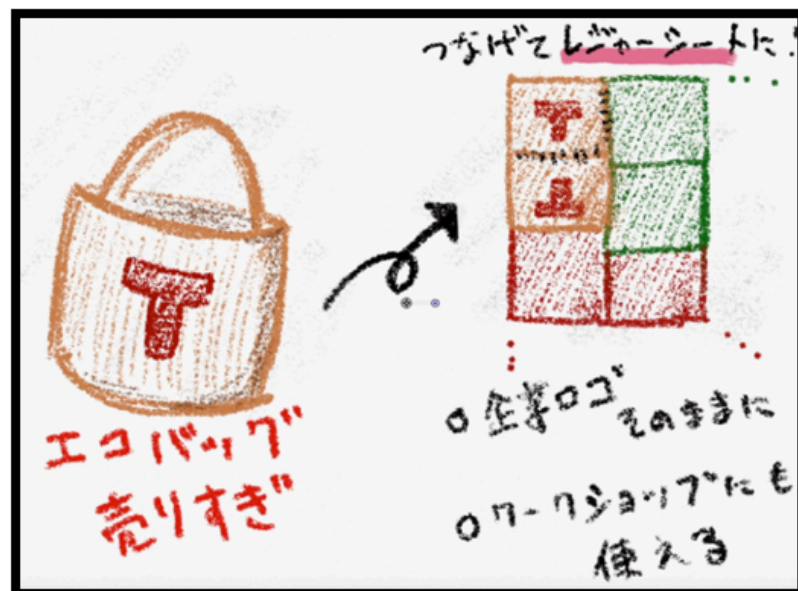
アップサイクルのアイデアを考え、
企画書を作成し、
それを説明する発表をしてください。

ではここで出題です。

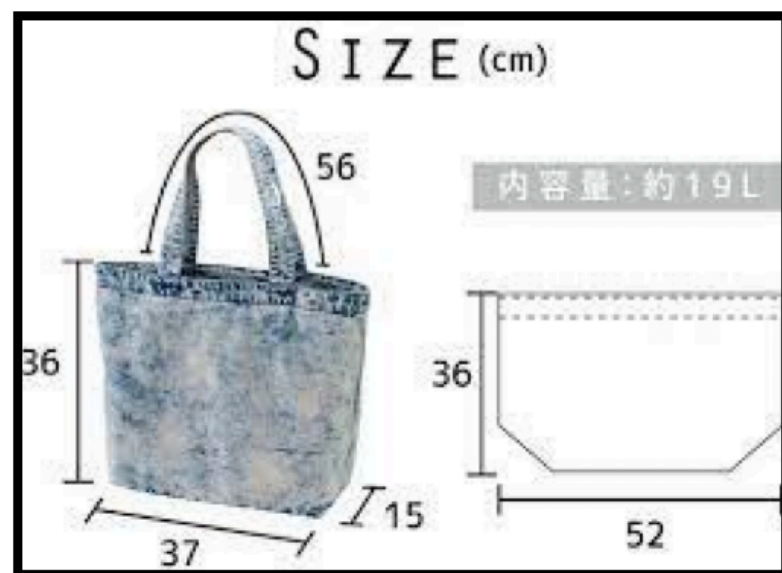
アップサイクルのアイデアを考え、企画書を作成し、それを説明する発表をしてください。

企画書は凝ったものでなくても以下の程度の説明書きで構いません。

画像で表現



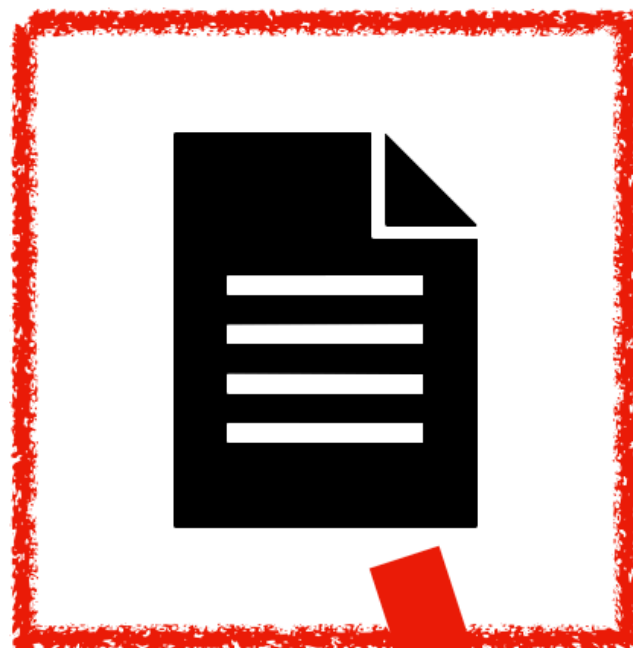
模型で表現



用紙で表現



文章説明



文章での説明は必ずつけて下さい
直接書き込んでも別紙でも構いません